

新規・継続別	新規	分野	農道の整備		事業番号	53	事業名	県営農道整備(一般農道)	
町村名	高森町・豊丘村		(ふりがな) 箇所名	たかもり とよおか 高森豊丘		事業年度 (完了年度は見込み)	H23 ~ H26 年度		
事業概要	計画概要 (延長・巾・面積・工種など)	路面改良2,670m、橋梁補修2橋(299m)、排水改良200m					H22年度末 事業進捗率	0 %	
	H23年度以降実施内容	同上					本工事費等ベース	0 %	
	H23年度実施内容	路面改良100m、排水改良200m					用地補償費ベース	- %	
	年度	全体事業費	H21年度まで	H22年度	H23年度	H23年度以降残			
	事業費計(千円)	130,000	0	0	20,000	130,000			
財源内訳	国庫支出金	65,000	0	0	10,000	65,000			
	その他	32,500	0	0	5,000	32,500			
	県債	29,000	0	0	4,000	29,000			
	一般財源	3,500	0	0	1,000	3,500			
箇所評価	観点	評価項目・指標等	評価			部	政策評価課		
						ランク	評価	ランク	評価
	必要性 (20)	計画交通量	■1000台以上	□500台以上~1000台未満	□100台以上~500台未満	A	7	A	7
		受益面積	■200ha以上	□50ha以上~200ha未満			8		8
		人家連担延長	■総延長の10%未満	□総延長の10%以上~30%未満			5		5
		小計					20		20
	重要性 (15)	農業振興地域	■地区内全域指定	□地区内一部指定		A	10	A	10
		市町村農業振興計画	□位置づけあり	■位置づけなし			0		0
		設計上の環境配慮項目	■配慮項目あり	□配慮項目なし			3		3
		小計					13		13
	効率性 (20)	費用対効果(B/C)	■B/C 1.1以上	□B/C 1.0以上~1.1未満	□B/C 1.0未満	A	6	A	6
		早期発現度	□効果発現までの年数 2年以内	■効果発現までの年数 3~4年以内	□効果発現までの年数 5年以上		4		4
		コスト削減へのとりくみ	■コスト削減 有り	□コスト削減 無し			6		6
		小計					16		16
	緊急性 (25)	関連事業の有無	□あり	■なし		A	0	A	0
		農業経営上の支障の有無	■営農上の支障有り	□営農上の支障無し			12		12
		農村環境の改善	■地域の生活道路としても 必要	□地域の生活道路として 必要でない			10		10
		小計					22		22
	計画熱度 (20)	地域からの要望	■地域住民の内発的な活動が強い	□市町村からの要望がある	□特に要望ない	A	6	A	6
		事業情報の共有	■関係者以外に広く周知	□関係者を中心に周知	□特に周知してない		6		6
住民参加の状況		□住民が計画策定に直接参加	■住民や市町村の意見を計画策定に反映	□住民意見は反映していない	4		4		
小計					16		16		
費用対効果(B/C)		11.42	評価の合計			A	87	A	87
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本農道は広域農道伊那南部地区(昭和49年~平成13年)で実施された基幹的農道で、農作業、農作物の流通及び農村生活に利用されている。しかし、交通量の増大による路面損傷やプリスタングなどにより荷傷みや安全な通行に支障がでており、致命的な損傷となる前に保全対策を行うことが求められている。							
	地域からの要望経緯	高森町の町政懇談会H21.10~12において広域農道の舗装の劣化、安全対策の向上について要望が出される。交通量の増大による路面損傷やプリスタングなどにより、荷傷みや安全な通行に支障が生じていることから、H20.5には高森町から、H21.4には豊丘村から事業実施の要望が出された。							
	事業説明等の経緯	H21.4豊丘村より農道改修の要望があり、事業制度の説明を行い、本事業で対策を行うことで合意。H21.9両町村に事業制度、スケジュール、作成資料内容について打合せ。H21.9~H21.12両町村の財政担当課、理事者へ説明し了解を得る。H21.9~H22.5に高森町第5次振興総合計画第3期基本計画の改定作業を実施し、「安全・安心で快適に暮らせるまち」の中で広域農道の劣化した舗装の改修に取り組むと明記し、計画の概要版を各戸に配布し、ホームページにも掲載した。							
	環境・景観への配慮項目	既設構造物の補修、改修工事であり、環境への負荷は少ない。路面改良については、「路上再生路盤工法」を採用し、既存路盤材の再生利用、産業廃棄物の削減を図る。高欄の塗装色を周囲の景観に配慮した色彩とする。							
	他事業・プロジェクトとの関連	受益地は果樹、野菜栽培が盛んで、地区内に認定農業者が115名おり、また2組織で農地・水・環境保全向上対策に取り組んでいる。農産物輸送の効率化、生産団地の育成、農作業の省力化と農村地域の生活環境の改善を図るための農道の維持保全は、地域農業の維持・発展に不可欠である。							
特記事項	特になし。								
地域の合意形成	■全員賛成		□概ね賛成	□過半数賛成	□動向不明	□その他			
部意見	路面の損傷が著しく、農産物の輸送や地域交通に支障を来しているほか、洗掘や法面崩落により排水路が機能しないため、降水時に道路の排水不良が生じるなど、重要性、緊急性、緊急性が高い。				政策評価課 意見	必要性が高く、重要性、緊急性も認められる。			